

食品ロス削減

第5回

もったいないをありがとうに

フードドライブ にご協力ください!

ご家庭に眠っている
食品はありませんか?

「賞味期限までに食べきれそうにない」
「たくさんもらって余っている」など、
ご家庭に眠っている余剰食品があれば
ぜひ実施場所にお持ち寄りください。

前回のお礼
9月7日~9日
重量 532kg
の食品が集まりました

白米・玄米は
開封済みでも
少量でも
OKです!

誰かのために
なるんだね!



日時 2023年

1月18日(水)~20日(金)
10:00~17:00

- 実施場所
- コープ高砂特設コーナー
 - 高砂市市役所分庁舎1階多目的スペース
 - 高砂市ユアアイ福祉交流センター (社会福祉協議会)
 - 高砂市内但陽信用金庫各店
(9:00~15:00 / 店内指定場所 0120-200-707)

お問い合わせ先 高砂市エコクリーンピアはりま
☎079-448-5260

○ 受付できる食品

- お米 (白米・玄米・レトルトごはん)
- パスタ、素麺などの乾麺
- 缶詰・レトルト・インスタント食品
- 海苔・お茶漬け・ふりかけ
- お菓子・飲料
- 調味料 (醤油、食用油など) など

1ヶ月以上賞味期限が残っている
常温保存可能なもの

✕ 受付できない食品

- ✕ 賞味期限が1ヶ月を切っているもの
(白米・玄米・砂糖などの賞味期限のない商品は除く)
- ✕ 開封されているもの
- ✕ 生鮮食品 (生肉・魚介類・生野菜)
- ✕ アルコール (みりん、料理酒除く)
- ✕ 製造者または販売者の表示のないもの (白米・玄米を除く)

ごめんなさい... 上記食品は、お持ちいただいても
受取できません。
ご理解・ご協力をお願いいたします。

“フードドライブ” とは?

家庭で余っている食べきれない
食品を持ち寄り、
それを必要としている
福祉団体・施設に寄付する活動で
「もったいない」を「ありがとう」に
変える取り組みです。

家庭

フードドライブ

フードドライブ実施場所

地域で資源循環

高砂市内の
福祉団体・施設など

共催 / 高砂市・高砂市社会福祉協議会・生活協同組合コープこうべ

NPO法人フードバンクはりま・ボランティアグループれいんぼー・但陽信用金庫

食品ロスとは？

食品がまだ食べられるのに、捨てられてしまうこと

世界では…

世界全体で生産される食料のうちの、

**1/3が
廃棄**

されています。



その量 **年間**
約13億トン

日本では…

「食品ロス」は、

年間

522万トン

※廃棄される食品のうち
可食部分と考えられる量

事業系 家庭系



275万トン



247万トン



毎日よにぎり
1〜2個捨てている
事になるんだね…

食品ロス量が
平成24年度の推計開始以来、
最少になりました！
(令和2年推計値)

国民1人1日当たり
食品ロス量
約113g
(茶碗約1杯弱に相当)



資料：総務省人口推計（2020年10月） 令和元年度食料需給表（確定値）

もったいない！

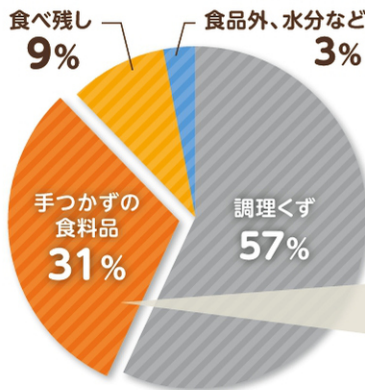
約40%の食料品が まだ食べられるのに捨てられています！

高砂市内の家庭から発生する食品ロスの実態調査を行った結果、生ごみ全体の約31%が手つかずのまま捨てられている食料品であり、約9%が食べ残しによるものでした。

また、手つかずの食料品について調べてみると、半数以上が全く手を付けられておらず、消費・賞味期限切れで捨てられていました。(環境省:令和2年度市区町村食品ロス実態調査支援事業報告書による)

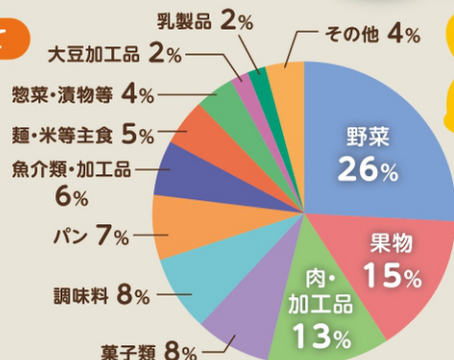
食品ロスの削減は、食資源を大切にするとともに、ごみを減らすことで地球環境への負荷を減らすことに繋がります。食品ロスの削減にご協力をお願いします！

家庭から出される生ごみの内訳



手つかずの食料品について

- 全体の半数以上は全く手つかずで捨てられている。
- 消費期限、賞味期限切れのものが捨てられている。
- 野菜が最も多く、全体の約1/4を占めている。果物、肉・加工品を含めると全体の半数以上を占めている。



食品ロス、こんな問題点も

世界では…
栄養不足人口は

約8億人

9人に1人が栄養不足



日本では…
食料自給率は

36%

世界中から食料を大量に輸入する一方で、多くの食料を捨てています。

※令和元年度カロリーベース



環境面では…
世界中の食品ロスにより排出される温室効果ガス

(二酸化炭素換算)は、

CO₂ 約36億万トン

世界の温室効果ガス排出量全体の8%を占めています。 2018年度確報値



新型コロナウイルス感染拡大の影響で、収入が減少したり、途絶えたりする人が増えています。このような生活に困窮する方へも社会福祉協議会などを通じてみなさまから提供いただいた食品をお渡しします。ご家庭で余剰食品があればお持ち寄りください。

